

米国 耐久財受注は依然低調（16年6月耐久財受注）

2016年7月28日（木）

～機械設備投資の低迷も継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫			
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機
16/01	+1.6	▲0.1	(▲1.9)	▲1.5	+3.7	+1.5	(▲0.6)	+2.4	▲0.3	▲0.6	▲0.6	
16/02	▲0.8	▲0.8	(▲2.6)	▲1.6	▲3.3	▲1.5	(▲1.4)	▲2.1	▲0.3	▲0.4	▲0.4	
16/03	▲0.7	+0.2	(▲2.8)	+0.0	+2.0	+0.3	(▲2.0)	+0.3	▲0.2	▲0.1	+0.1	
16/04	+0.4	+0.3	(▲1.8)	+0.6	+3.2	+0.3	(▲1.4)	▲0.9	▲0.4	▲0.4	▲0.6	
16/05	▲0.3	▲0.2	(▲1.6)	▲0.5	▲2.8	▲0.4	(▲0.7)	▲0.5	▲0.4	▲0.2	▲0.4	
16/06	+0.4	▲0.2	(▲3.2)	▲0.4	▲4.0	▲0.5	(▲3.6)	+0.2	▲0.2	+0.2	+0.3	

6月の耐久財受注は前月比▲4.0%、除く輸送機器が同▲0.5%と減少幅を拡大

6月の耐久財受注は、前月比▲4.0%（前月同▲2.8%）と減少幅が市場予想の同▲1.4%を大幅に上回った。電子機器関連が増加に転じた一方、輸送機器が前月比▲58.8%と大幅な減少となったほか、コンピューター関連が減少幅を拡大し、一般機械が減少に転じた。また一次金属は3ヶ月連続の減少、加工金属は2ヶ月連続の減少となった。このため、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で耐久財受注が6月に+0.1%（前月+8.5%）とプラス幅を縮小した。

変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比▲0.5%（前月同▲0.4%）と市場予想の同+0.3%に反して、減少した。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で輸送機器を除く耐久財受注は6月に▲1.8%（前月▲0.7%）とマイナス幅を拡大しており、耐久財受注の基調は低調なままである。自動車、加工金属、コンピューター関連は拡大しているが、ドル高や資源価格下落、世界的な需要鈍化の影響を受け、一般機械、一次金属、電子機器が低迷を続けている。

6月の非国防資本財は出荷が前月比▲0.4%と減少を続けた一方、受注が同+0.2%と増加に転じた

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が6月に前月比▲0.4%（前月同▲0.5%）と市場予想の同+0.4%に反して減少した。ただ、四半期でみると4－6月期は前期比年率▲1.7%と1－3月期の前期比年率▲11.6%からマイナス幅を縮小しており、改善の兆しもみられる。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では▲1.7%（前月▲5.2%）と減少幅を縮小している。4－6月期の機械設備投資が減少幅を縮小したことを示唆している。

一方、機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、6月に前月比+0.2%（前月同▲0.5%）と増加し、市場予想と一致したものの、4－6月期では前期比年率▲6.6%（1－3月期の前期比年率▲7.1%）と大幅な減少となっている。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では▲6.6%（前月▲4.3%）とマイナス幅を拡大しており、7－9月期も機械設備投資の減少が続くことを示している。

以上のように、16年前半の機械設備投資は、ドル高、原油価格の下落、弱い海外需要など、価格と数量の両面から押し下げ圧力を受け、低迷を続けた。しかし、年後半の機

械設備投資は、ドル高に歯止めがかかっているほか、原油価格が上昇したこと等を背景に、徐々に減少幅を縮小すると見込まれる。

